



歯っぴ〜ワクワクレター



発行/ 医療法人 西村歯科

〒599-8241

堺市中区福田868-1

TEL 072-239-1518

ホームページ 中区 西村歯科 で検索

1本のヒモで首・肩の凝りが減少する

1本のヒモを身体に巻き付けるだけで首のコリ、肩こりが減少するって信じられますか？

例えば大掃除や身体を大きく動かすときにする、「たすき掛け」がこれにあたります。

たすき掛けは胸を開き、肩甲骨を寄せることで呼吸と胸の動きを助けてくれます。

それにより体が前方に移動して姿勢が良くなります。姿勢が良くなると自然と身体の力が抜けて、首や肩が楽になります。

お試しを希望される方はぜひお申し出ください。

無料で体験していただきます。

私もスタッフも毎日やっています。



歯とお口に
まつわる歴史

デンタルヒストリア

「ネアンデルタール人も“^{ししゅうびょう}歯周病”に悩んでいた！」

人類史上最大の感染症ともいわれる**歯周病**ですが、実は**数万年前に絶滅したネアンデルタール人**たちも歯周病に悩まされていたようです。 **スペインのコバ・フォラダ遺跡**で発掘された推定5万年以上前の頭蓋骨には**化石化した歯**が残っていて、**骨が溶けるほどの重症な歯周病**を患っていた痕跡が残されていたそうです。 また、**楊枝**のようなもので**歯の掃除**をして、**歯周病の痛みを和らげていた**ような跡も残っていたそうです。彼らは道具を作り、火も扱っていたという説もありますから、意外と器用だったのかもしれませんがね。





歯のはなし

生え方、根の形は十人十色！ 親知らずの抜歯は意外と大変？

皆さんは、親知らずを抜いた経験はありますか？「スムーズに抜歯できた」という方がいる一方で、「歯を分割して、骨を削ったから時間もかかった」と大変な思いをされた方もいらっしゃると思います。その主な理由は、親知らずの生え方や根の形は人それぞれで、それによって抜歯の難易度が異なるためです。そこで今回は、親知らずの抜歯についてお話しさせていただきます。

親知らずとは？

親知らずとは、前歯から奥に向かって数えて8番目の一番最後に生えてくる永久歯のことです。ちなみに、親知らずとは俗称で、正式には^{だいさんだいせうし}第三大臼歯や^{ちし}智歯などと呼ばれます。一般的には10代後半から30代にかけて上下左右に1本ずつ生えてきますが、中には歯ぐきの中に埋もれて顔を出さなかったり、そもそも親知らずが無いという人もいます。



生え方の一例

生え方の一例をご紹介しますと、①上向きに生えてキレイに顔を出すパターン、②一部だけ顔を出すパターン、③完全に歯ぐきの中に埋もれて顔を出さないパターンなどがあります。

①の場合であればあまり問題は発生しませんが、②の場合はケアが難しくむし歯になりやすかったり、炎症を起こしやすかったりするため注意が必要です。③は歯が顔を出していないためむし歯になることはありませんが、のちのちトラブルが発生したり、抜歯が必要になる場合もあります。

生え方の例

①



上向きに生えて顔を出すパターン

②



一部だけ顔を出すパターン

③



完全に埋もれているパターン

抜歯の難易度

難易度1 歯ぐきを切開して抜歯する。

難易度2 歯を分割するが、骨は削らずに抜歯する。

難易度3 歯を分割して、さらに骨を削って抜歯する。

難易度4 完全に骨の中に埋まっている歯を抜歯する。

低
難易度
高

生え方が①のパターンであれば難易度は1か2、②のパターンであれば2か3、③のパターンであれば4と想定されます。また、下顎の親知らずの近くには顎の神経があり、傷つけないよう細心の注意が必要になるため、一般的に上顎よりも下顎の親知らずの方が難易度は高くなります。

抜歯する、しないの基準

親知らずを抜歯するか、しないかの判断基準としては、まず親知らずが悪さをしているか、いないかによります。親知らずに食べ物がよく詰まる、歯ぐきがはれやすいなど、親知らずがあることでむし歯や歯周病のリスクが高くなってしまふ場合は抜歯を選択するケースが多いでしょう。

また、若い年齢であれば骨がやわらかいため抜歯がしやすく、抜歯後の傷の治りも早いというメリットがあります。また、将来的に妊娠や出産を希望される女性は、その期間中にトラブルが発生した場合を考慮して、事前に抜歯を選択することもあります。一方、高齢になると骨が固くなるため抜歯がしにくく、さらに他の病気や服用中の薬との兼ね合いで注意が必要になるケースも増えてきます。



なかなか一筋縄にはいかない場合もありますので、親知らずが気になる方はお気軽にご相談ください。



美容と健康に役立つ お口周りのツボ&マッサージ

二重あご改善“舌ワイパー”エクササイズ

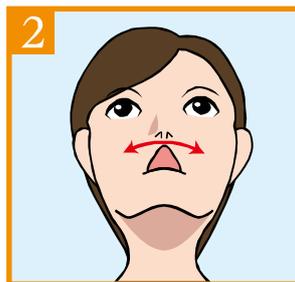


年齢とともに気になってくるのが、あごのたるみやゆるみです。そこで今回は、そんな悩みを改善する舌のエクササイズをご紹介します。舌を動かしてあごの筋肉を刺激することで、二重あごの改善につながります。

やり方



1 手をクロスして胸を押さえ頭を後ろに倒したら、舌をグッと天井のほうに突き出してください。



2 1の状態のまま、車のワイパーのようなイメージで舌を左右に動かしてください。これを10往復程度繰り返しましょう。

毎日イキイキ!



健康情報

かんそく

乾燥させない? 消毒はしない?

傷の正しい治し方

切り傷やすり傷といったちょっとしたケガをしたとき、皆さんはどのように手当をしていますか? かつては「乾燥させて、かさぶたをつくと早く治る」とか「患部にはすぐに消毒液を塗る」などいわれていましたが、現在では傷を早くキレイに治すためには違う方法が推奨されています。

そこで今回は、傷の正しい治し方についてお話しします。

Step 1 傷の状態を確認

まず、ケガをしたときは怖がらずに傷をよく観察して状態を確認しましょう。もし傷が深かったり、範囲が広い場合は、速やかに病院を受診しましょう。また、痛みが続いたり、炎症が起きたりした場合も、病院で診察を受けた方が安心です。



Step 2 止血&洗浄する

自宅でケアできる傷の場合は、まず患部に流水を当てて止血します。特に砂や汚れがついている場合は感染症予防として、患部の周囲を優しく丁寧に洗いましょう。この時、せっけんを使用しても構いませんが、水道水で洗うだけでも十分です。もし出血が止まらない場合は、清潔なガーゼやハンカチなどを当てて、しばらく患部を圧迫してください。

Step 3 創傷被覆材を当てる

創傷被覆材とは患部を覆う素材のことです。これまでは主にガーゼや絆創膏ばんそうこうが使われてきましたが、このような素材は患部が乾燥しやすく治りが遅くなります。近年の研究では、傷は湿らせた状態を保つことで早く治すことができると考えられ、これに基づいたものとしてハイドロコロイド素材の創傷被覆材が販売されています。こういった創傷被覆材は通常の絆創膏よりも値段は高いのですが、できるだけ傷跡を残したくない、早く治したいときなどに使用してみてもいいかもしれません。



傷口を乾燥させない治療法は、モイストヒーリングと呼ばれています。傷口から染み出した体液の動きを活用することで傷口を早くキレイに修復させることができます。



かんぶつで 乾燥物 アツアツ アツアツ

● 今回の乾燥物



切り干しだいこん

切り干しだいこんの 中華サラダ

栄養価 (1人分)

■ エネルギー	130kcal
■ 塩分	1.0g
■ 食物繊維	1.9g



材料(4人分)

切り干しだいこん	30g
きゅうり	1本
ハム	4枚
卵	1個
サラダ油	大さじ1/2
① 濃口しょうゆ・ごま油	各大さじ1
砂糖・酢	各小さじ2

作り方

- 1 切り干しだいこんは水洗いしてザルにあげ、適当な長さに切る。きゅうりとハムは干切りにする。卵は溶き、サラダ油をひいたフライパンで薄焼きにし、干切りにする。
- 2 ボウルに①を入れて混ぜる。
- 3 ②に①を入れて和え、器に盛る。



One Point
切り干しだいこんは水洗いするだけで食べられる便利な乾燥物です。食物繊維の補給にも役立ちますので、便秘や生活習慣病の予防・改善に有効です。

つい使っていませんか？

間違いがちな日本語の言い回し

意味を勘違いしていたり、間違った意味で覚えていたり…、意外と難しい日本語。そこでこのコーナーでは、日常の会話の中でつい使ってしまう、間違いがちな日本語の言い回しをご紹介します。

「脚光を集める」と「脚光を浴びる」

例文

- × 「世界記録を出し、彼女は脚光を集めた」
- 「世界記録を出し、彼女は脚光を浴びた」

解説

世間から注目されることを「脚光を浴びる」と言いますが、注目を集めるという意味もあることから「脚光を集める」とつい使ってしまうがちです。脚光とは読んで字のごとく脚の光、つまり舞台などで足元から照らすライトのことですから、ライトの光は集めるのではなく浴びるもの、と考えると覚えやすいかもしれませんね。また「脚光を当てる」という言い方もありますが、こちらも「ライトの光を当てる」という言い方もできることから誤用ではありません。

「過半数を超える」と「過半数を占める」

例文

- × 「賛成の票は過半数を超えた」
- 「賛成の票は過半数を占めた」

解説

「過半数」とは半分を超えた状態のことですから、「過半数を超える」は二重表現となり日本語として正しくありません。「二重表現ってなに？」と思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、「頭痛が痛い」「馬に乗馬する」のように同じ意味の言葉が重なったものは二重表現にあたります。正しい言い回しは「過半数を占める」「過半数に達する」または、「半数を超える」ですが、「過半数を超える」は意外と気が付かずに使ってしまうがちな二重表現ですので、ご注意ください。